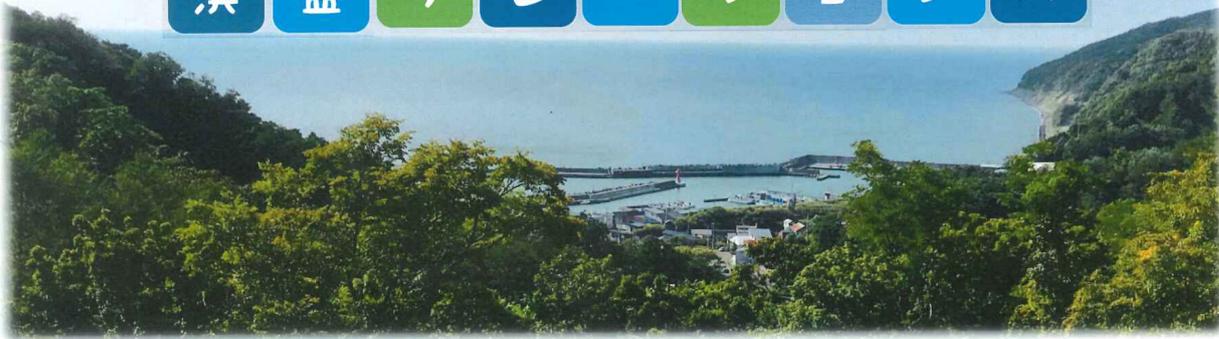


浜益リレーションズ



はまます日記

お久しぶりです。第2号からだいぶ時間が経ってしまった。今日は2019年度のふりかえり号です。浜益で過ごした1年を振り返ってみたいと思います。



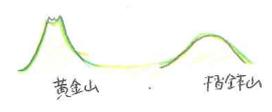
第3号
発行日 2020/3/26
発行元 NPO法人 ezorock
浜益リレーションズ



浜益ってどんなところ?



～アイヌ編～
浜益には、一際目立つ富士山のような形をした「黄金山」と呼ばれる山がある。この名前には砂金を採りに入、た和人が知付けたとされている。アイヌ語では「ペンネ=タイオリシバ」(木原にも見える雄山)とも呼ばれ、ユウラ(アイヌ民族が伝わる長編の余草詩、つまり物語にリスムをかけたもの)に登場する英雄のイチャウパが拠点にしていたという言い伝えがある。黄金山のすぐ近くに存在する「智冠金山」とは天婦山と言われ、二山一帯が神聖な山とされている。



森もり特集

森での活動のようす

今年度から、家づくりと同時に種崎エリアから使っていない森を再活用しました。この森での活動の様子をご紹介します。

陣屋跡の小道を道直し、林道も上り下りしたところにあります。谷間にあるので、あまり風はモックありません。昔は種崎エリアの先祖が住んでいた所、水は小川があり農地として切り開かれた場所。果樹がうわています。

1月の木 3月の木 5月の木

草刈り、草刈りに覆われていました。

草刈り、人が入れるようになります。

子どもも一緒にこの森遊びました。みんながおいしい山飯を食べました。

1年を振り返って

以前から、子どもキャンプの受け入れ地やイチイツアーなど様々な場面でお世話になっていた浜益。今年度から空き家になったお家をお借りし、「浜益ベース」として拠点をもち、宿泊しながら「浜益」活動を行いました。バスで1時間半、近いと思えば、毎週通うのは思っていたより大変なところもありました。バスに乗って浜益に着いては、30分ほどで、海を渡り、夕日に空に帰る。帰るには、「いい週末だね」といって帰ります。浜益でも少しづつ知り合いが増えてきました。外から来た人が浜益の自然と人に出会えることで、新しい発見があるような活動とこれから作り、していきたいです。(ママ)